

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年11月10日

計画の名称	9 ICアクセス道路等の整備															
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	京都市															
計画の目標	自動車専用道路等や最寄りの鉄道駅へのアクセス道路として整備を推進することにより、道路交通の円滑化と地域の活性化を図る。															
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,572	A	3,572	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)		(H31末)
1	最寄りのIC・鉄道駅までのアクセス道路を整備することによるアクセス時間の短縮			
	最寄りのIC・鉄道駅までのアクセス道路を整備することによるアクセス時間の短縮 (最終年度における短縮時間)＝(アクセス道路整備前の所要時間)－(整備後の所要時間)	0分	分	3分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・流域水循環計画（京都市水共生プラン）に基づき実施される要素事業：9-A-1, 9-A-3, 9-A-4, 9-A-5, 9-A-6, 9-A-7												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	改築	鴨川東岸線（第二工区）	街路整備 L=1.0km	京都市	■	■	■	■	■	1,747		－	
	A01-002	道路	一般	京都市	直接	京都市	都道府 県道	改築	（主）京都広河原美山線 ・二ノ瀬バイパスⅠ	現道拡幅・バイパス L=2.0km	京都市	■						0		－
		交付金が充当できず、事業は未実施（全体事業費もゼロ）																		
	A01-003	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	改築	中山石見線	街路整備 L=1.1km	京都市			■	■	■	569		－	
		H29からP2より移行																		
	A01-004	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	改築	伏見向日町線外Ⅰ	街路整備 L=1.1km	京都市		■	■	■			249		－
		H28補正からP2より移行																		
	A01-005	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	改築	桂馬場線	街路整備 L=0.1km	京都市				■	■	447		－	
	A01-006	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	改築	鴨川東岸線（第三工区）	街路整備 L=0.6km	京都市				■	■	530		－	
A01-007	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	新設	向日町上鳥羽線	街路整備 L=0.5km	京都市					■	30		－		
										小計						3,572				

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						3,572		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

京都市で評価を実施

事後評価の実施時期

平成31年度末（令和2年度への繰越し事業を含む）

公表の方法

京都市ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

ICや鉄道駅へのアクセス道路を整備したことにより、アクセス時間が短縮した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

未完了事業について、限られた予算を効率的・効果的に活用し、継続して事業を進める。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	IC・鉄道駅までのアクセス時間の短縮		
	最 終 目標値	3分	
	最 終 実績値	3分	

(参考図面) 社会資本総合整備計画

